



令和7年12月16日

四国地方整備局

南海トラフ地震に備えた航路啓開訓練の実施

～海上から迅速な緊急物資輸送を行うために～

四国地方整備局では、大規模災害時の海上からの緊急物資輸送ルートの確保を目的として、令和7年12月19日に南海トラフ地震を想定した航路啓開訓練を実施します。

今回の訓練では、近畿地方整備局や中国地方整備局とも連携して、机上で「初動時の広域連携体制確立プロセス」と「優先的に航路啓開を実施する港湾・航路の選定プロセス」の確認を行います。（別紙①参照）

なお、今回の訓練では四国の港湾関係では初めて東側半割れ※もシナリオに盛り込んで訓練を行うことを想定しています。

※南海トラフ東側で大規模地震発生後、西側で連動して大規模地震が発生するケース

1. 日時

令和7年12月19日（金）13:30～15:30（予定）

2. 場所

高松サンポート合同庁舎 南館1階 101大会議室（WEB会議システムを併用）

3. 訓練参加者（予定）

＜国の機関＞

- ・四国地方整備局 港湾空港部、防災室
高松港湾・空港整備事務所、高知港湾・空港整備事務所
- ・近畿地方整備局 港湾空港部
- ・中国地方整備局 港湾空港部
- ・四国運輸局 総務部
- ・第五管区海上保安本部 交通部
- ・第六管区海上保安本部 交通部

＜港湾管理者＞

- ・香川県土木部
- ・高知県土木部

＜関係団体＞

- ・一般社団法人日本埋立浚渫協会四国支部
- ・一般社団法人海洋調査協会
- ・一般社団法人港湾空港技術コンサルタント協会

4. 取材要領

- ・傍聴を希望する報道関係者は、12月18日（木）12:00までに事前に別紙②の取材申込書を提出して下さい。また当日は13:20までに会場にお越し下さい。
- ・傍聴者の数によっては、お席を用意できない場合もありますので、あらかじめご了承願います。

※本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

【問い合わせ先】 ◎主な問い合わせ先

四国地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課長 高木 耕造

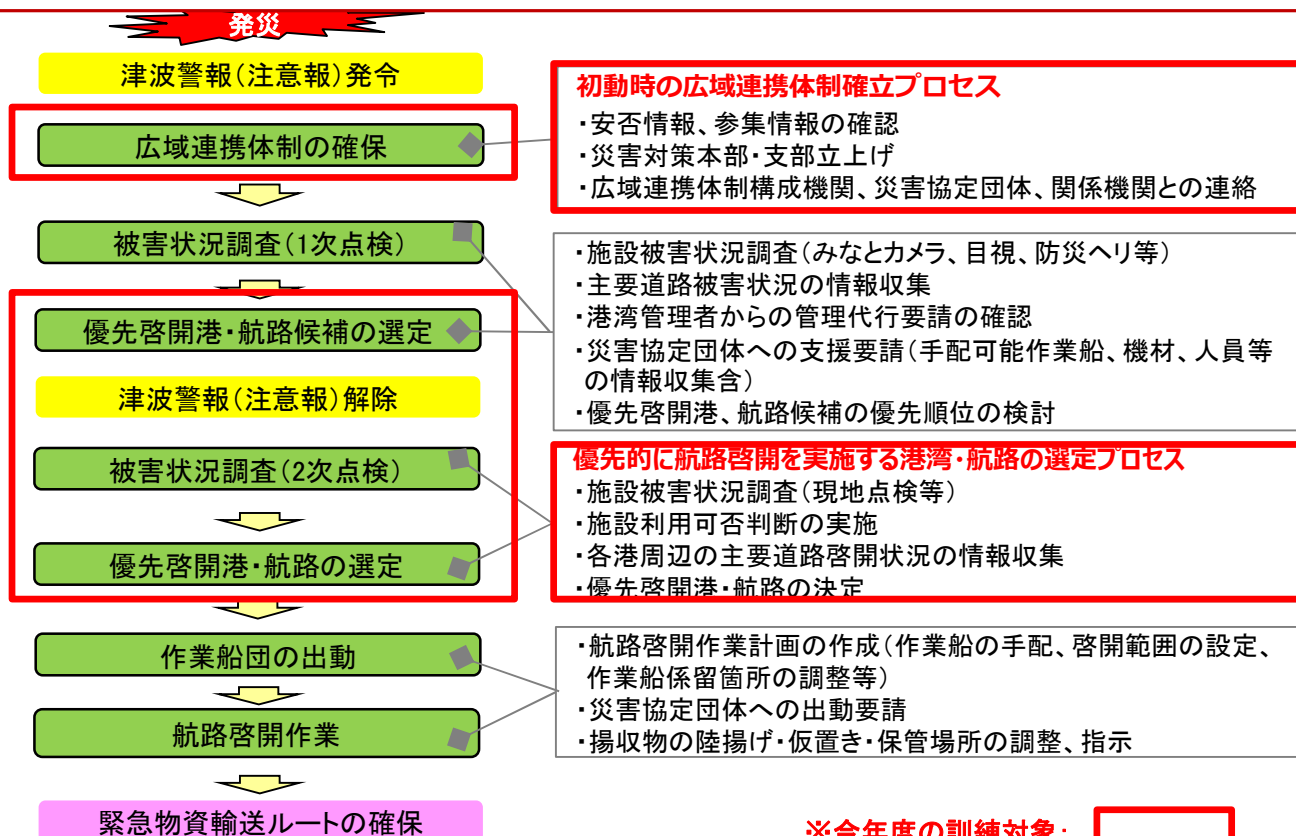
◎課長補佐 宮地 正士

TEL 087-811-8333（直通）

■ 航路啓開訓練内容

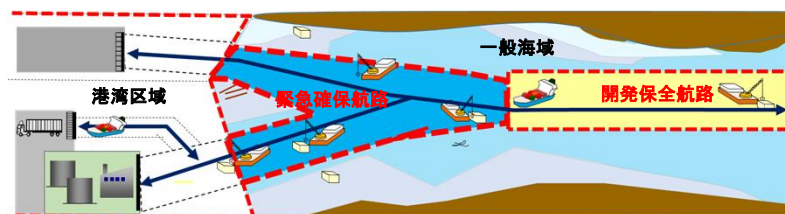
災害時における航路啓開においては、緊急物資輸送ルートの確保を目的に下記フローのとおり、各種作業を進めていきます。

今回の訓練では、「初動時の広域連携体制確立プロセス」と「優先的に航路啓開を実施する港湾・航路の選定プロセス」の確認を行います。



※航路啓開とは、地震に伴う津波等の災害発生により航路や泊地に浮遊・漂流・沈降して安全な船舶航行の障害となっている物件を、安全な船舶航行が可能となるよう撤去することをいいます。

なお、今回の訓練は、高松港を対象として訓練を実施します。



※今年度の訓練対象:



■ 昨年度の訓練実施状況



【広域連携体制の確保】



【被災状況調査(1次点検)】

令和7年度 航路啓開訓練 取材申込書

申込み先
四国地方整備局 港湾空港防災・危機管理課 宛

E-mail : pa.skr-boukika@gxb.mlit.go.jp

貴社名	
連絡先 (代表者の連絡先)	TEL: ※取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入してください。 取材当日に変更等が生じた場合に連絡させていただきます。
取材者氏名	ふりがな 1) (代表者)
	2)
	3)
	4)
	5)

令和7年12月18日（木）12時までに
別紙を添付のうえ E-mail 送信をお願い致します。